

大館市公共施設予約システム導入事業

プロポーザル審査要領

秋田県大館市

令和8年6月

## 1. 目的

大館市公共施設予約システム導入事業プロポーザルの実施に当たり、その審査の具体的な取り扱いについて定めるものである。

## 2. 審査対象者

審査は、次の事項をすべて満たすものを対象に行う。

- (1) 別紙「大館市公共施設予約システム導入事業プロポーザル実施要領」（以下「実施要領」という。）に規定するプロポーザル参加資格に該当する者
- (2) 実施要領に規定する期限内に、必要な全ての書類を提出した者
- (3) 実施要領により、適正に書類を作成した者。

## 3. 審査方法

### (1) 一次審査（書類審査）

参加事業者が3者以下であった場合は一次審査を省略する。

参加事業者が4者以上の場合は、大館市公共施設予約システム導入事業プロポーザル審査委員会事務局において各評価項目における評価基準に基づき書類審査を行い、上位3者を二次審査実施対象事業者として選考する。

### (2) 二次審査（プレゼンテーション）

大館市公共施設予約システム導入事業プロポーザル審査委員会が評価を行う。

プレゼンテーションの内容について、評価基準の評価項目毎に採点を行い、評価点の合計点が最も高い事業者を最優秀提案者とする。

※ 合計点が同点の場合は、企画提案書の得点が高い者を上位とする。

## 4. 評価項目及び評価基準

一次審査及び二次審査の審査する基準を示す。

### (1) 一次審査（書類審査） 合計10点

評価項目		評価基準
企画提案書	システム機能	・実施要領別紙1_機能要件一覧の対応可否 ・施設利用の利便性向上 ・施設管理の負担軽減

(3) 二次審査（プレゼンテーション） 合計1,000点

審査項目別の配点は下記のとおりとする。

- |         |        |
|---------|--------|
| ① 企画提案書 | 700点   |
| ② 価格提案書 | 300点   |
| 合計      | 1,000点 |

①企画提案書の評価基準は以下のとおりとする。

No.	項目	評価内容
1	システムについて	・システムのメリット・デメリット
		・システムの将来像及び柔軟性
		・機能要件を満たしているか
2	システム保守	・公共施設予約システムの保守に対する対応
3	サポート対応	・本稼働までの施設管理者の作業負担軽減 (データ準備・テスト) ・操作マニュアル作成・研修 ・本稼働後のサポート
4	施設利用者の 利便性	・施設予約時の操作性・分かりやすさ ・本稼働後の施設利用の利便性向上
5	施設管理者の 負担軽減	・予約管理の操作性・分かりやすさ ・本稼働後の施設管理の負担軽減
6	セキュリティ 対応	・セキュリティを確保するための対応
7	その他	当市に役立つと考えられる提案

②価格提案書の評価基準は以下のとおりとする。

配点（300点）×（最低提案価格 / 提案価格）